

研究室名	植物生理学研究室、先端機器分析センター 論文発表
------	---------------------------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

発表時期	2020年
題名	レーザーマイクロダイセクション法を用いた凍結切片からの遺伝子発現解析 (Spatio-temporal gene expression analysis from cryosection using laser microdissection)
掲載雑誌	Plant Morphology (2020) vol. 32 pp. 39-43
著者	朝比奈雅志 ^{1, 2} , 中野渡幸 ¹ ※, 山田一貴 ¹ ※, 湯本絵美 ² , 佐藤忍 ³ ¹ 帝京大学理工学部バイオサイエンス学科 ² 帝京大学先端機器分析センター ³ 筑波大学生命環境系 <small>(※: 卒研生または大学院生、アンダーライン: 本学教職員、研究員)</small>
概要	レーザーマイクロダイセクション(Laser Microdissection; LMD)法は、顕微鏡とレーザー照射装置が接続された機器を用いて、切片を観察しながら標的細胞・組織をレーザーで切断して対象領域を回収する方法であり、組織特異的な遺伝子発現解析などに活用されている。LMD法はこれまでに動物組織を中心に多くの研究成果が報告されてきたが、植物においても、LMDを応用した様々な研究成果が報告されるようになってきている。本稿では、我々が用いているレーザーマイクロダイセクションを用いた植物凍結切片からの組織回収と遺伝子解析、植物ホルモン分析の概略について紹介する。本研究は、私立大学戦略的研究基盤支援事業、科学研究費補助金、私学事業団経常費補助金特別補助（大学間連携等による共同研究）による支援を受けて行ったものである。
関連画像	 <p>レーザーマイクロダイセクション装置</p>